

大阪支部・カボタージュ規制の堅持と船員政策を申し入れ

大阪支部は関係自治体（滋賀県・京都府・福井県、白浜町、舞鶴市）と地方議会へ、第 85 回定期全国大会決定事項に基づく申し入れを実施し、小林泰之大阪支部長が申し入れ文書を手交するとともに、同行した職場委員を交え、船員政策について意見交換を行い理解を深めた。

申し入れの主な内容は▽船員の確保・育成の促進について▽海に親しむ活動の推進▽船員税制▽フェリー・旅客船の維持・存続への支援▽カボタージュ規制の堅持一についてで、特にわが国の安全保障や治安を守る上でカボタージュ規制を堅持することは重要であることと理解を求めた。各自治体と議会からは次の考え方が示された。

滋賀県   1 月 21 日

海事思想の普及については、毎年滋賀県の小学校 5 年生の必須科目として、県所有船「うみのこ」で湖上学習を行っている。活動の重要性を認識しているため、今後も継続していきたい。

湖上の安全に関して、水上バイクが船舶に接近して安全運航の妨げになっていることについて理解した。調査を行い水上警察と情報を共有し対策をしていきたい。

滋賀県議会   1 月 21 日

申し入れ事項を議会で周知した上で、知事とも相談し検討していきたい。

白浜町   1 月 23 日

海に親しむ活動について、白浜第一小学校、白浜第二小学校の生徒向けに体験乗船と出前講座を毎年開催していただいていることに大変感謝している。今年も引き続き開催をお願いしたい。船員税制について、導入に向けて調査を行い、検討していきたい。

白浜町議会   1 月 23 日

申し入れ事項を議会に周知した上で、町長とも相談し検討していきたい。

京都府   1 月 21 日

海事思想の普及については、港湾の役割を広く知ってもらうため地元小学生を対象とした港の見学会を、港湾業務艇を利用して行っている。また、海上保安庁・海上自衛隊のイベントと合わせて、みなとオアシスのイベントを行っており、この企画は今後も継続していきたい。

「海員だより」